

科目名 Course Name	子どもの健康と安全 Child health and safety						
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	長谷川久美子						
連絡先(質問等)	講義棟 1 階非常勤講師室						
必修/選択	選択(保育士養成課程必修)						
関連 DP	DP4,DP5						
授業の概要と到達目標	子どもたちの生活環境が様変わりしている中で多様な背景をもつ子どもたちが置かれている状況を十分に把握し、必要に応じて適切な対応ができるように基本的知識の修得と実践力を身につける。 ①子どもの健康を守るために必要な保育環境について説明することができる。 ②保育施設の衛生管理について具体的に述べることができる。③子どもの事故の発生や緊急を要する状況での適切な対応と応急処置について述べることができる。 ④感染症対策について具体的に述べるができる。						
授業の方法	講義と演習では実技指導含む。事例紹介や保健関連の最新情報などを取り入れ、映像機器も活用する。健康教育の教材として『ほけんだより』を作成する。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	①子どもの健康を守る保健的観点を踏まえた要件を列挙することができる。 ②子どもの体調不良時における対応を身につけることができる。 ③子どもの傷害や事故発生時の応急処置を身に付けることができる。 ④感染症の予防対策を具体的に説明することができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	演習レポートの提出。定期試験を実施し各自フィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書:遠藤郁夫他「子どもの健康と安全」学建書院 母子健康手帳 参考図書・参考資料:授業の中で適宜指示またはプリント資料を配布。						
履修上の留意点やルール等	教材を必ず準備し、課題意識を明確にして授業に臨む。提出物は期限厳守する。事前・事後学習時間の目安は各回 90 分相当とします。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	教材を必ず準備し不明な点があれば質問する等、意欲的に学習に取り組む姿勢がみられる。演習グループでは協調して行動する。			10	
レポート/作品	出題者の意図に合致し、内容構成もよく課題要件を満たしている。			20	
発表					
小テスト					
試験	記述式を含む設問内容の要件を満たし、授業内容が正確に表現されている。定期試験の評価基準 C (60-69) 以上とする。			50	
その他	期限厳守で『ほけんだより』の作成と提出。			20	
合計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスの概要説明、学習への取り組み、レポートの提出等)
	事前・事後学習	保育所保育指針解説書—健康及び安全
2	授業内容	子どもの健康と保育環境—保健的観点を踏まえた保育環境
	事前・事後学習	保育施設の法的根拠
3	授業内容	衛生管理—屋内・屋外の衛生管理
	事前・事後学習	消毒液の種類と用途
4	授業内容	職員の衛生管理—手洗いの意義
	事前・事後学習	正しい手洗いの方法
5	授業内容	職員の健康・衛生管理—保育者自身の健康管理
	事前・事後学習	日常の健康管理
6	授業内容	事故防止および安全対策—子どもの事故の現状と事故の特徴、事故防止
	事前・事後学習	事件事例(ヒヤリハット・死亡例)
7	授業内容	体調不良時の対応—発熱・咳・嘔吐・下痢その他の対応、薬の使い方
	事前・事後学習	薬の服用、病院の受診
8	授業内容	緊急を要する状況への対処方法—気道異物、意識障害、アナフィラキシーショック
	事前・事後学習	エピペンの使い方
9	授業内容	傷害時の応急処置および子どもの心肺蘇生法
	事前・事後学習	傷の手当の基本
10	授業内容	感染症対策①—感染症対策の基本、予防接種
	事前・事後学習	母子健康手帳
11	授業内容	感染症対策②—感染症発生時と罹患後の対応
	事前・事後学習	子どもに多い感染症の症状
12	授業内容	保育における保健的対応—3歳未満児への対応
	事前・事後学習	SIDS 対策
13	授業内容	保育における保健的対応—個別的な配慮を要する子どもへの対応
	事前・事後学習	慢性疾患児や障害児と通常児
14	授業内容	健康および安全管理の実施体制—保健計画の作成、他職種との連携
	事前・事後学習	「ほけんだより」の作成
15	授業内容	授業のまとめ
	事前・事後学習	重要ポイントの振り返り